

令和4年 第9回香芝市教育委員会会議（8月定例）会議録

日時 令和4年8月24日(水)
午前10時00分より
場所 香芝市役所5階委員会室

〔出席者〕

教育長 小西 友吉
委員(教育長職務代理者) 田中 貴治
委員 三岡 正美
委員 關野 英明
委員 山田 綾子

〔欠席者〕

教育部次長(生涯学習課長事務取扱) 津崎 弘美

〔事務局〕

教育部長 澤 和七
教育部次長 高木 信行
教育総務課長 玉村 晃章
保健給食課長 土佐 潔孝
学校教育課長 陀安 龍也
学校支援室長 澤田 善広
こども課長 上平 直美
市民図書館長 大橋 典子
文化財課長 奥田 昇

〔書記〕

教育総務課主幹 木原 健次

日程1 定足数の確認

日程2 開会の宣言

教育長

それでは時間になりましたので、始めさせていただきます。

出席者が定足数に達しておりますので、これより令和4年第9回香芝市教育委員会会議(8月定例)を開会いたします。

委員並びに、事務局、傍聴にお越しの皆様方に申し上げます。携帯電話の電源はお切りになるか、またはマナーモードにしてください。また、香芝市教育委員会傍聴規則第6条により、写真録音等が禁止されていますのでよろしくお願いいたします。

本日、津崎教育部次長は欠席でございます。

日程3 署名委員の指名について

教育長 本日の署名委員は、田中委員と三岡委員にお願いいたします。

日程4 諸報告について

教育長 それでは日程に基づきまして、日程4の諸報告として、私から報告いたします。

7月29日（金）、市部長会、教育委員会部課長会がございました。

8月1日（月）、辞令交付式、民生委員推薦会がございました。

8月2日（火）、中学生全国大会壮行会がありました。これは、香芝中学校の女子弓道部3名が、全国大会に出場するための壮行会がございました。弓道部員らしく礼儀正しい、良い姿勢で来ていただいております。

8月3日（水）、第28回香芝市小学校水泳記録会、下田小学校で開催いたしました。コロナ禍の中、2年間開催ができておりませんでした。今回は5年生と6年生の146名の児童が参加しました。研究会がコロナ対策を十分取り、下田小学校はじめ小学校10校の先生方の協力がきちんと得られ、しっかりと開催できたこと、報告いたします。

8月4日（木）、香芝市プログラミング学習研修会、これは学校支援室の藤井指導主事が行いました。13名の先生方が参加しております。

同じく8月4日（木）の午後ですけれども、香芝市教育研修会、校長研修会を行っています。校長先生を中心に、たくさんの先生方が研修に参加されました。こちらは奈良教育大学の竹村教授に来ていただいております。算数・数学科を通して、研修をさせていただきました。

8月8日（月）、生徒指導研修会、これは学校支援室の浦野指導主事が行いました。15名の参加でした。

同じく8月8日（月）の午後は道徳教育研修会、下田小学校の関川校長先生に来ていただいております。これは小中学校、24名の先生方の参加がございました。

8月9日（火）、第65回奈良県学童水泳記録会が開催されました。全体の参加者が小学校で411名でございましたけれども、そのうち香芝市の小学校9校で167名、全体のうち約41パーセントが香芝市の児童となっております。

8月12日（金）、中学生の全国大会壮行会を行いました。先ほど申し上げた弓道部は大会が早かったので個別に行ったのですが、この日は香芝中学校の剣道部、香芝北中学校のソフトボール部と水泳部を激励する壮行会を行いました。壮行会には2校の中学校の校長先生と、香芝北中学校ソフトボール部の顧問とキャプテンが来られ、福岡市長と川田議長から激励の言葉と記念品をいただいております。教育委員会からも同じく、激励の言葉と記念品を贈呈しました。

8月16日（火）、香芝市いじめ・不登校対応委員会を行いました。報告事項と、今年度の具体的な取組について話し合いをしております。

8月21日（日）、学校視察ということで、下田小学校と関屋小学校を訪問しております。休み中に工事等をした学校の視察をしております。本日8月24日（水）午後からも、真美ヶ丘西小学校、香芝中学校の方に行く予定でおります。

昨日の8月23日（火）、香芝市立小中学校校長会を臨時で開いております。これは、新学期が始まる前の内容を含め、それから学力調査の結果等が出ましたので、市としての分析等について共有しております。今後、各学校からの取組についてのヒアリングを9月中に14校、行う予定としております。

諸報告として以上、報告させていただきます。

ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

山田委員。

山田委員 失礼いたします。香芝市いじめ・不登校対応委員会で決まった、今年度の取組というものを、詳しく教えていただけますでしょうか。

教育長 学校支援室長。

学校支援室長 失礼いたします。香芝市いじめ・不登校対応委員会では、令和3年度のいじめや不登校について、また、今年度6月に行った、県のところといじめのアンケートについて7月・8月に各校からヒアリングを実施し、各校の取組や対応の状況について報告・協議をいたしました。その中で、各学校でいじめや不登校について対応いただいておりますが、今後、市としてすみれ教室、適応指導教室の方を不登校児童や生徒に薦めていくあたりであるとか、こころのケア支援事業あるいは電話相談等について、引き続き市の方としても取組を進めていくといった内容を確認いたしました。以上です。

教育長 山田委員。

山田委員 すみれ教室なのですが、具体的にどういった取組をされているのか、教えていただけますでしょうか。

教育長 学校支援室長。

学校支援室長 すみれ教室や適応指導教室については、不登校になっている児童・生徒、学校に登校することができない児童・生徒が、家に引きこもりにならないように、少しでも家の外に足を運べるように、すみれ教室や適応指導教室に行っていただいて、学習であったり、様々な活動を通して、学校への復帰を目指すことを目的としているところで

教育長 山田委員。

山田委員 その効果というのは出ているのでしょうか。

教育長 学校支援室長。

学校支援室長 通っている児童・生徒がまだ少なく、利用状況が少ないところが課題でありますので、すみれ教室のパンフレットを新しく作成し直したり、すみれ教室内の環境整備というあたりの検討を進めているところでございます。

教育長 他にございませんか。
三岡委員。

三岡委員 失礼いたします。私も、すみれ教室に関してなのですが、先日たまたま適応指導教室の指導員の先生とお話をさせていただく機会がございました。現在、すみれ教室に通っていらっしゃる児童・生徒さんは少ないということですが、小学校高学年から中学校にかけて、年齢が上がるほどに不登校が増えている状況だと思います。中学生の不登校の生徒さん方、とにかく家にこもっているよりも、すみれ教室に通っていただいて、すみれ教室の生徒さんが多ければ多いほど、周囲との関わりや仲間とのつながりというのも増えてまいりますので、学校に復帰する可能性も高くなっていくという考え方もあるかと思えます。適応指導教室の先生もおっしゃっていたのですが、学校の先生方との連携を密に取っていただいて、行政の方からできるだけ、家にこもらないですみれ教室に通っていただくような働きかけをしていただきた

教育長 異議が無いようですので、この議案の審議は秘密会とさせていただきます。暫時休憩いたします。

(非公開部分)

日程5(2) 議第16号「市長と教育委員会との地方自治法180条の2の規定に基づく協議について」

教育長 案件(2)議第16号「市長と教育委員会との地方自治法180条の2の規定に基づく協議について」、事務局より説明をお願いいたします。教育総務課長。

教育総務課長 只今、提案になりました議第16号「市長と教育委員会との地方自治法180条の2の規定に基づく協議について」の提案理由をご説明申し上げます。

本案は、令和4年8月18日付香企第48号において、香芝市長より香芝市教育委員会に事務の補助執行及び委任に関する協議の依頼がございました。6月に開催されました香芝市教育委員会会議でご審議いただきました「保育所、認定こども園、学童保育所、放課後児童健全育成事業等に関する事」につき、委員会から市長への通知内容を踏まえ、提案をうけた本案により、令和3年11月19日合意の協議書を今回の協議内容に変更するものでございます。なにとぞ、慎重審議の上、原案可決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教育長 ただいまの説明につきまして、何かご意見・ご質問等ございますか。
田中委員。

田中委員 失礼いたします。第2条の2項、そのまま読みますと、議決を得るべき事件につき、というかたちなのかと思うのですが、おそらくこれは「事」と「件」を別に読むべきなのかと思っております。そのような解釈でよろしいでしょうか。

教育長 教育総務課長。

教育総務課長 こちらの現行の部分から改正案に変わることにおきましては、地方自治法に書かれている条文を引用しているかたちとなっております。

教育長 他に何かございますか。
三岡委員。

三岡委員 教育大綱と総合教育会議について、協議書の案では補助執行になっていたのですが、この改正案では、その補助執行の内容が入っていないというのは、やはりそちらについては、市長部局が本来のとおり持ってくださいという解釈でよろしいでしょうか。

教育長 教育部長。

教育部長 おっしゃる通りで、市長部局で教育大綱、総合教育会議については事務を実施するというところでございます。以前、6月の教育委員会会議にてご説明させていただいた際にも、ご意見をいただいておりますが、総合教育会議また教育大綱作成は、そもそも市長に権限がございしますが、その主な案件が教育になることから、教育委員会の方で補助執行となることを答弁させていただいたかと思っております。その後、ご意見を踏まえて調べさせていただいた中で、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第1条の4第4項に「教育委員会はその権限に属する事務に関して協議する必要がある

ると思慮するときは、地方公共団体の長に対し、協議すべき具体的事項を示して、総合教育会議の招集を求めることができる」とあります。そのため、補助執行することなく招集を求めることは権限としてございますので、こういったかたちにさせていただき、事務自体は市長部局でということで、補助執行はしないことで対応をさせていただきました。以上です。

三岡委員 ご説明いただきありがとうございます。教育のことですので、教育委員会が市長の主導の元にしっかりと連携を取って、円滑に進めていっていただきたいと思います。ありがとうございます。

教育長 他にご質問等ございませんか。
 關野委員。

關野委員 私も今、三岡委員と同じところで教育大綱、総合教育会議についてお聞きしようと思っておりましたが、内容について理解しました。また、大綱というのは何年か経ったら変化するものだと思うのですが、そうするとその都度、委任や補助執行などが教育委員会の方に来るということですかね。もう一つ、市史に関することについては以前にもお聞きしたのですが、市史があつてそれを作るチームのようなものがあるというように解釈していたのですが、今回はそれが載っていないという解釈でよろしいですかね。

教育長 教育部長。

教育部長 教育大綱の方ですけれども、先ほどありましたように教育大綱の作成についての権限は市長部局にありますので、作成にあたっては各部局との調整はされると思いますが、市長部局の方で作成されるかたちになりますので補助執行にはなっておりません。もう一点いただいていた市史編纂でございますが、これに関しましては文化に関することは教育委員会の業務であるということから、以前は補助執行のかたちでさせていただいておりましたが、本来、教育委員会の事務であることから、直接、教育委員会の事務であるということで補助執行からはずさせていただいております。以上です。

教育長 他に質問等ございませんか。

教育長 本案につきまして、ご異議無いでしょうか。

各委員 （「異議なし」の声あり）

教育長 異議が無いようですので、原案のとおり可決することといたします。

日程5（3）その他

教育長 案件（3）その他として、各課より報告があればお願いします。
 教育部長。

教育部長 失礼いたします。私の方から1点、報告させていただきます。
 現在、モナミホールの解体が管財課にて進められております。その跡地でございますが、最終的には管財課の方で整備するところ、当分の間は体育館と公民館の共有の駐車場として利用させていただきたいと考えておりますので、ご報告をさせていただきます。以上です。

教育長 ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問はないでしょうか。

教育長 他に報告はありますか。学校支援室長。

学校支援室長 失礼いたします。私から令和4年度の全国学力・学習状況調査結果の概要について、公表の内容の報告をさせていただきます。香芝市と全国、奈良県との平均値の比較および概要についてまとめたものを、市のホームページを通じて公表いたします。配布しております資料をご覧ください。

今年度は令和4年4月19日に、小学6年生と中学3年生を対象とし、国語科、算数・数学科、理科の3教科および児童生徒質問紙について調査が行われました。1ページ目から2ページ目にわたって、国語科、算数・数学科、理科の教科に関する調査結果の概要を載せております。本市と奈良県、全国と比較した平均正答数と正答率を載せております。理科については前回調査が行われた平成30年度との比較となります。小学校では3教科とも全国平均を下回っており、県平均と比較すると同等レベル、国語科のみが上回っている状況でございます。また、中学校におきましては理科が県平均、全国平均を若干下回り、国語科は県平均、全国平均を上回っております。小中学校ともに、算数・数学科および理科が伸びていない中、国語科については昨年度と同等程度、あるいは若干上向き傾向となっております。

続いて、各教科における状況ということで文章表記しておりますが、小中学校で共通する部分がございますので、教科ごとにまとめております。

まず国語科でございますが、話すこと・聞くことについて昨年度同様、全国平均を上回っております。読むことについても、正答率が昨年度よりも上がってきております。これまでから課題であった書くことについては、昨年度からの各校の取組において、授業等で書く機会を多く確保してきていることから、記述式の正答率が少しずつ上がってきていますが、無回答率という点では、記述式の問題で依然高く、引き続きの課題であると考えております。また、小学校では漢字の書き取り、中学校では言語文化に関する事項など、いわゆる基礎基本となるところの確実な定着というところに課題が見られます。

続いて、算数・数学科でございます。小学校では、数と計算の領域において、数の大きさを概算で見積もる際に、切り上げるのか切り下げるのか、あるいは四捨五入するのかというように、その場面によってふさわしい概算の仕方が異なってきますが、その概算の仕方が適切かどうか判断できていないという課題が見られました。また、変化と関係の領域でも、割合の問題に課題が見られました。例えば飲み物の量が変わっても、飲み物の濃さ、つまり割合が変わらないというものの理解などです。中学校では関数や図形の領域に課題があり、グラフの読み取りや図形の性質の関係について、プログラミング的思考を経て説明をするなど、小中学校ともに、答えを導き出した過程や、答えを導き出した過程や事柄が成り立つ理由を論理的に筋道立てて説明する力に課題が見られます。

続いて、理科についてです。特に小学校では、習得した知識を日常生活や身近な現象とのかかわりの中で捉え直すことに課題があります。知識として身に着けたことを、生活の中や他の場面で生かしていないと考えられます。中学校では、観察結果や実験結果から得られた具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として明らかにしたことを表現することに課題が見られました。また、明らかにしたいこと、課題に対して仮説・予想を立て、条件制御をしながら実験内容や方法を考え、得られた結果から明らかになったことを考察していくという一連の流れにおいて、手順や実験内容など、過程を見直したり、検討・改善をしたりする点に課題が見られます。

最後に3ページ目、3番のところで質問紙調査の結果の概要についてまとめてお

ります。質問紙調査の項目の中から、いくつかの項目に絞り、状況についてまとめております。まず「各教科の勉強が好きか」という学習意欲についてですが、「はい・どちらかといえばはい」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに小中学校ともに奈良県平均・全国平均を下回っています。「家で計画を立てて勉強しているか」という質問に「よくしている・ときどきしている」と肯定的に回答した割合は、小中学校ともに全国平均を下回る結果となりました。次に、自己肯定感・自己有用感について、「自分にはよいところがあると思うか」という質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、小学校段階では全国平均を上回っていますが、中学校になると低下する傾向にあります。また、規範意識について、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」という質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、奈良県平均・全国平均を上回っています。

明日から2学期が始まりますけれども、2学期のスタートから取組が早く進められるように、先日、臨時の校長会を実施し、香芝市の調査結果の概要について周知いたしました。各学校でも、自己の分析を行い、昨年度行った取組の検証を行っておるところでございます。また9月から、事務局の方でヒアリングを行い、各校の取組の状況を聞きながら、授業力の向上、授業改善に努めてまいりたいと思います。以上、私からの報告を終わります。

教育長

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

關野委員。

關野委員

国語の方で全国平均を上回っており、話すことや読むことの部分について改善が見られているというのは、なかなか良いことだと思います。国語というのは他の教科との相関関係が強いと思います。論理的に筋道を立てて考えていく、それがあれば他の教科でもやっていけます。私が以前調べたことがあるのが、国語と理科、それから音楽との相関関係が強いということですね。国語はやはり基本ですから、それを基礎にして数学、それから理科といったものでも論理的に考えていく、これが大事だと思います。

理科の方ですけれども、私はこのような学力調査では、質問紙調査の方に興味があります。小学校では理科の好きな児童が76.9%という一方で、中学校では53.6%と、かなり減っていますね。小学校の理科は、自然環境やいろいろな生き物・植物を観察するなど、割と定性的な部分が多いのですけれども、中学校に入ると定量的なところが入ってきて、数学が入ってくると。その辺の部分で苦手になっていく生徒が多くなってきますよね。元々興味がある子たちをうまく持っていければ、理科に興味を持ち続け、成績につながっていくのではないかと、そういう気がします。

それから、「自分に良いところがあると思うか」という回答が79.4%と少ないですよね。中学生になったらさらに減ってきている。やはり自信を持って立ち向かっていかなければならないのではということ、そういった研修・講習が必要かなと思います。各学校の方でこれを踏まえ、いろいろ検討していただければと思います。ただ、学校全体を評価するのに、学力調査だけではないですよ。学力調査があつて、成績が上がっているのは非常に良いことだと思いますが、それ以外の生き生きとしたところ、思いやりがあるところ、そのような人格的な部分での素晴らしさというものもあります。だから、教科面だけを見てこの学校はこう、あの学校はこうというような、断定的な判断は避けなければと思っております。

教育長

学校支援室長。

学校支援室長

ありがとうございます。理科の質問紙において、「好き」という生徒が減ってきているということなのですが、昨年度と比べると、国語については「好き」という肯定的な回答が増えてきております。やはり、その教科が好きという生徒の方が正答率の高い傾向にあることから、今年度の国語科の成績が県・全国と同等あるいは上回るような結果になったのではないかと考えておりますので、理科も含め全体として、まずはその教科が面白い、楽しい、好きだと思えるように、子どもたちを育てていかなければならないと思っております。また、自己肯定感・自己有用感のところについても、中学校で下がってくる原因の部分までは、まだ明確な答えは見つかっていないのですけれども、やはり成長段階で謙虚さが現れてきたり、小学校から中学校へと様々な経験を重ねることで保守的になってくるのかなという理由が考えられます。ただ、周囲とのかかわりの中で、小学校段階で養ってきた自己有用感・自己肯定感というところを、中学校でさらに高めていく指導や取組が必要ではないかと考えております。ご意見ありがとうございました。

教育長

他に質問等ございませんか。
三岡委員。

三岡委員

失礼いたします。理科に関しては全国の結果の分析を拝見しましても、やはりコロナで実験の機会が減ってしまったからという部分も大きいように思われます。また、国語に関して、令和3年度の分析の件でも先日申し上げたところですが、学校で朝のモジュールの時間に「書く」という機会も取り入れていただきたいことを申し上げた時に、実際、学校でもその取組を行っているところですので、とお答えいただいていた。今回、その効果が出てきているのだなと思い、非常に嬉しく思っています。数学や理科に関しては、その單元ごとに力を入れれば、すぐに学力は伸びるのでありますが、国語は日々の積み重ねがなければ伸び悩むものと思っております。書く力は大人になってからも必要になってきますので、レジュメであるとか文章表現のご指導をこのまま続けていっていただきたいなと思っております。ありがとうございました。

教育長

他に各課からの報告はございませんか。

教育長

それでは、次回の令和4年第10回教育委員会会議は、9月末になりますが、また正式な日程を追って決めたいと思います。

教育長

本日の案件は全て終了いたしました。これを持ちまして、令和4年第9回教育委員会会議を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、慎重審議ありがとうございました。以上で散会いたします。

(午前11時01分 閉会)